

令和
7年度

「さんかく岡山」主催事業

岡山市男女共同参画大学 「さんかくカレッジ専門コース」



さんかく岡山は、男女共同参画社会の推進を願い、様々な世代性別の方々を対象にした講座やイベントを開催しています。その中で、平成12年度より毎年開催している、岡山市男女共同参画大学「さんかくカレッジ専門コース」についてご紹介します。この事業は、分野を絞り、専門家による「講演会」や、受講者と講師が一体となった「ディスカッション」などを通して、「課題に対して自分の考えをもち、互いに高め合う講座」です。さらに、講座で学んだことを、受講者の皆さんが、家族や知り合いなどに広め、地域での活動などに生かしていく人材として活躍して下さることも期待しています。

令和7年度「さんかくカレッジ専門コース」のテーマ

「安心して暮らせる社会の実現 ～男女共同参画の視点から安心・安全について考える～」



テーマに迫るために、5回の講演会と学びの振り返りを行いました。各回の内容は次の通りです。

第1回

NPO 法人 SEAN 理事長 小川真知子さんから、男女共同参画についての歴史的背景、アンコンシャスバイアス、性の多様性、社会の変化による男女共同参画の意識の変化などの話を伺いました。「知る・考える・行動する」をモットーに、ジェンダーだと見抜く目を養い、ひとりひとりが声をあげ、メディアになることが大切だと教えていただきました。

第2回

(一社) 岡山市ひとり親家庭福祉会会長 景山敦子さんから、毎週日曜日開催の「さえざりカフェ」、弁護士等による専門相談会、親子交流イベント、フードドライブなどの団体の活動内容やひとり親のリアルボイスなどについてお話しいただきました。また、こども食堂東山つながりキッチン代表 原明子さんは、こども食堂を始めきっかけや活動内容、こども食堂を行う意義、課題などについてお話しくださいました。お二人の話から、安心できる居場所があることやみんなで支え合うことの重要性、生活困窮家庭への支援がどこまでできるのかボランティアでの限界などについて考えさせられました。

第3回

特定非営利活動法人オカヤマビューティサミット理事長 柚木幸子さんには、24時間対応の電話・SNS相談、DV保護シェルターなどの団体の活動やその支援の現状と課題について、また、DV・性暴力防止に関する啓発として、同意なしの接触や強制、ハラスメントなどの性暴力の具体例についてお話しいただきました。「安心と安全は人と場所とのつながりのうえにある」「過去は消すことはできないが未来は作ることができる」という力強い言葉が印象的でした。

第4回

特定非営利活動法人アムダ (AMDA) 副理事長 難波妙さんから、アムダ (AMDA) が掲げる「多様性の共存」という理念、「救える命があればどこまでも」をスローガンに、所属する共同体を超えて助け合い、苦労を共にする人間関係を築き、現地現状を知っている人がイニシアチブを取ることを大切に活動を行っておられること、そしてその事例として国内外での災害時に被災者の方々の健康を守る取組について、その現状や課題についてのお話を伺いました。平和な時こそ備えることが大切で、過去の災害から何を学び、どのように行動するか、あらためて自分事として考える時間になりました。

第5回

錦六区支合せの会事務局 大森康代さんからは、町内会など様々な地域の会で役員をしている方を中心に地域の方と行政等関係機関と一緒に、年齢を重ねても住みやすい街づくりについて考える「錦六区支合せの会」を立ち上げたこと、防災・福祉などの交流活動を通じて顔を合わせる機会を増やし、安心できる地域づくりを継続していこうとされていることなどのお話を伺いました。また、浅口市市民後見人 中桐和子さんからは、成年後見人と市民後見人の違いやご自身が活動する中で感じたやりがいや責任、自己表現ができる支援をすることの重要性について教えていただきました。

第6回

ノートルダム清心女子大学人間生活学部人間生活学科准教授 濱崎絵梨さんのコーディネートののもと、受講生が各自掘り下げたいテーマを決め、「安心・安全に暮らせる社会の実現」についての課題や自分にできることについて考えを発表し、意見交換をしました。

【受講生発表テーマと内容 (概要)】

アンパイドワーク

(家事・育児・介護・買い物・社会的活動などの無償労働)

- ・「担うのは女性」「誰にでもできる」という思いこみ。共働き家庭が増えた現代でも担うのは女性の割合が高い。
- ・子育てや介護の仕事に就く人の賃金を上げ、その業務の大変さと重要性を皆が認識するべき。

避難所運営におけるプライバシーの確保

- ・ダンパー数…人が安定した社会関係を維持できる人数の上限150人。人間関係の状況により上限人数の階層がある。
- ・パーソナルスペース…他人が近づいても不快に感じない見えない心理的境界線。
- ・トイレ、更衣室、授乳室など安全性、防犯性を考えることの重要性。
→皆が理解しておくことが大切である。

ソーシャルキャピタル

(組織の中で人の結びつきを「資本」とする概念。ネットワークの大切さを表す。社会関係資本)

- ・趣味や学び直しをする、会社(仕事)以外の世界を広げる、旧交を温めるなどが大切。
- ・周囲に知り合いをつくり、笑顔で挨拶など身近なことや何か人の役に立つことをやってみる。

大切にしたい地域のつながり

- ・課題…独り暮らし、認知症、詐欺、健康問題、フレイル、疎遠・孤立、防災
- ・解決策…市民講座やセミナー、公民館での催し、クラブ活動、近所での対話、町内会活動への参加、施設やサポートサービスの活用、ボランティア・助け合い、市民後見人
→一歩前へ踏み出すことが大切。

これからも、さんかく岡山は、身近な家族や地域から「男女共同参画社会」を推進して下さる人材育成をめざし、「一歩前へ踏み出すきっかけとなり、参加するのが楽しみになる有意義な講座」を企画していきます。多くの方の受講をお待ちしています。